

2021年度第1四半期決算説明資料

2021年8月2日

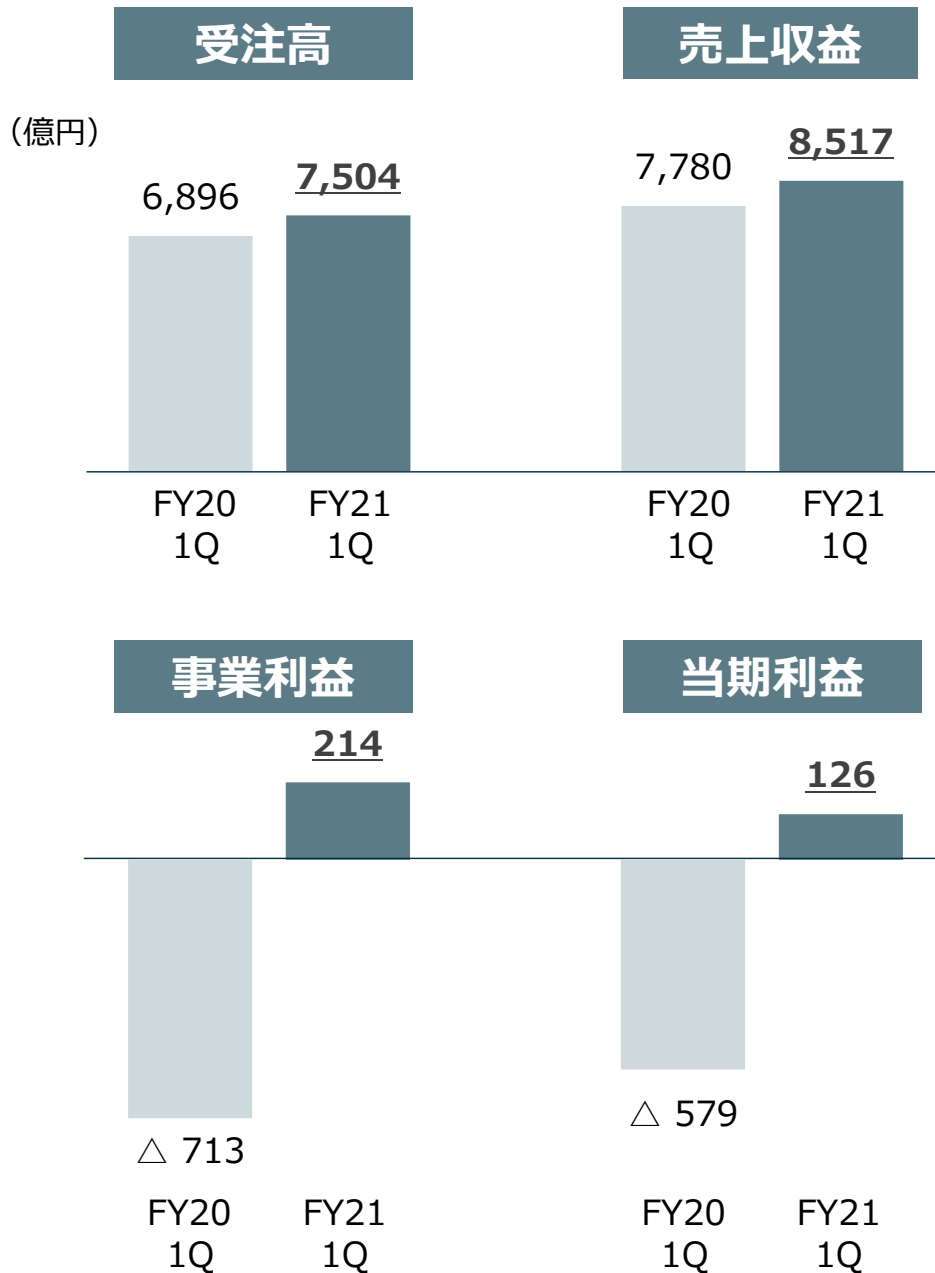
I. 2021年度第1四半期決算実績

- 連結経営成績サマリー 4
- 連結財政状態 6
- キャッシュ・フロー 8
- セグメント情報 9-12
(受注高・受注残高/売上収益/事業利益)
- 事業利益増減分析 13
- コロナ影響と状況 14
- 第1四半期決算の総括 15

II. 2021年度業績見通し 16-18

III. 補足資料 19-25

I . 2021年度第1四半期決算実績



■ 受注高

- コロナ前(FY2019-1Q:7,502億円) の水準まで回復
- ・プラント・インフラ（製鉄機械等）及び中量産品事業で市況が順調に回復
 - ・エネルギー、防衛・宇宙は、昨年度に大型案件の受注があったことによる反動減

■ 売上収益、利益

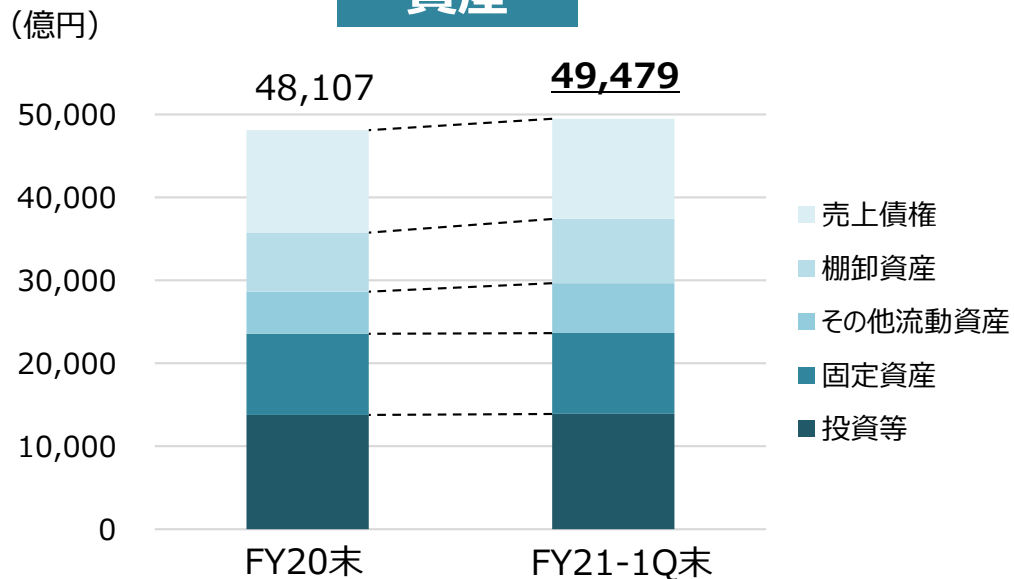
前年同期比 増収・増益。回復基調

- ・エネルギーやプラント・インフラの受注品事業で工事が進捗したこと、及び中量産品事業の市況回復により増収
- ・事業利益は、4セグメント全て黒字

(億円)

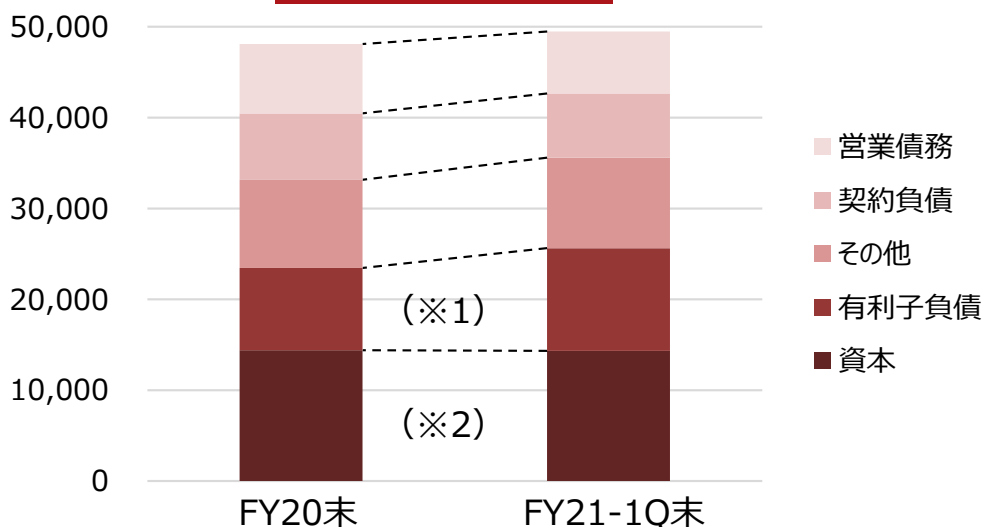
	2020年度1Q		2021年度1Q		増減	
	(利益率)		(利益率)		(増減率)	
受注高		6,896		7,504	+607	(+8.8%)
売上収益		7,780		8,517	+737	(+9.5%)
事業利益	(△9.2%)	△713	(2.5%)	214	+928	-
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(△7.4%)	△579	(1.5%)	126	+705	-
EBITDA	(△4.8%)	△371	(6.3%)	537	+909	-
フリーCF		△3,395		△1,673	+1,722	-

資産



- 総資産は前年度末から1,372億円増加
- 主な要因は現預金及び運転資金の増加

負債・資本



	FY20末	FY21-1Q末	増減
有利子負債残高 (億円)	9,056	11,298	+2,242
自己資本比率	28.4%	27.4%	△1.0pt
D/Eレシオ	0.63	0.79	+0.16

主な内訳 (億円)

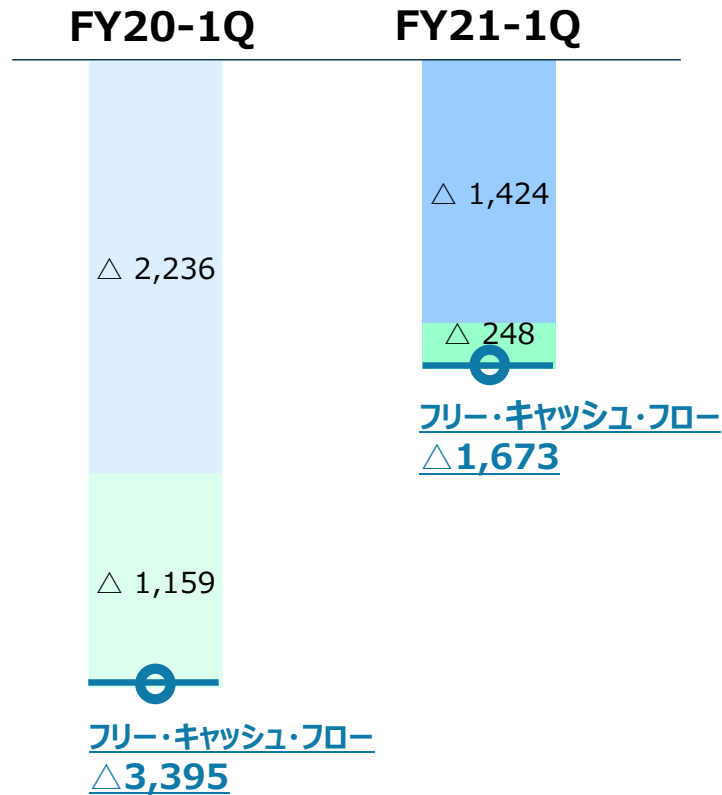
(※1) CP+2,210

(※2) 当期利益+126、配当△252

(億円)

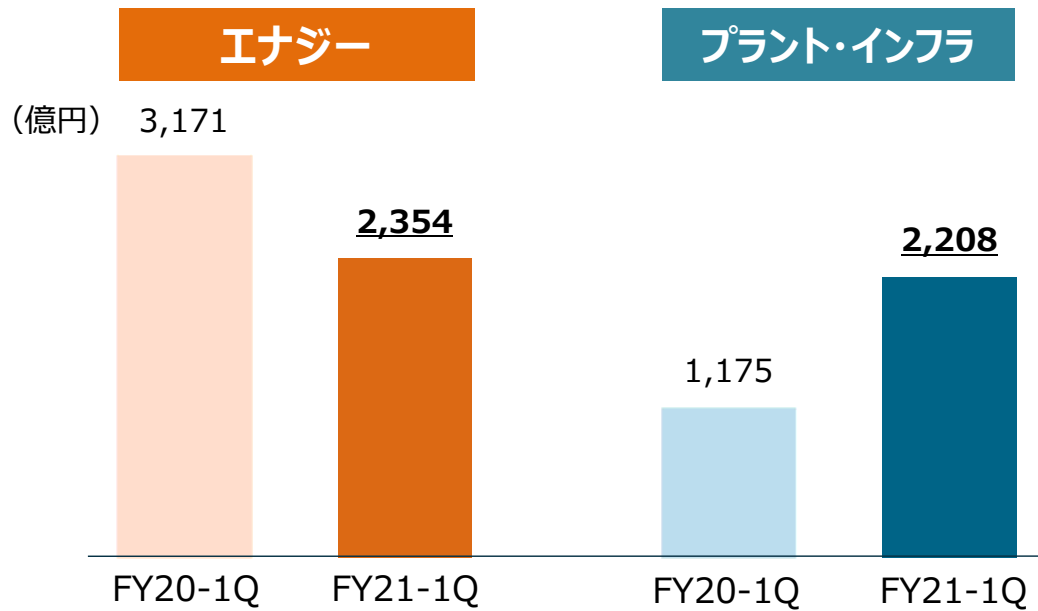
	FY20末	FY21-1Q末	増減
売上債権（営業債権、契約資産）	12,341	12,077	△264
棚卸資産	7,134	7,746	+612
その他流動資産	5,070	6,007	+937
（現金及び現金同等物）	(2,454)	(2,733)	(+279)
固定資産	9,789	9,752	△37
投資等	13,771	13,895	+124
資産合計	48,107	49,479	+1,372
営業債務	7,637	6,816	△821
契約負債	7,318	7,068	△250
その他	9,701	9,968	+267
有利子負債	9,056	11,298	+2,242
資本	14,393	14,327	△66
（うち親会社の所有者に帰属する持分）	(13,663)	(13,570)	(△93)
負債・資本合計	48,107	49,479	+1,372

(億円) ■ 営業CF ■ 投資CF

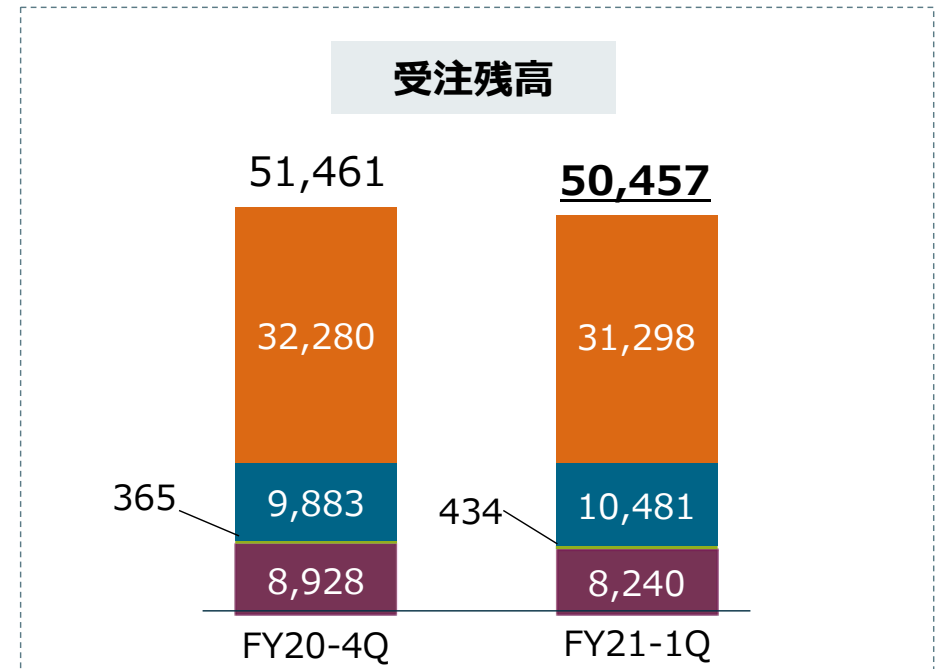
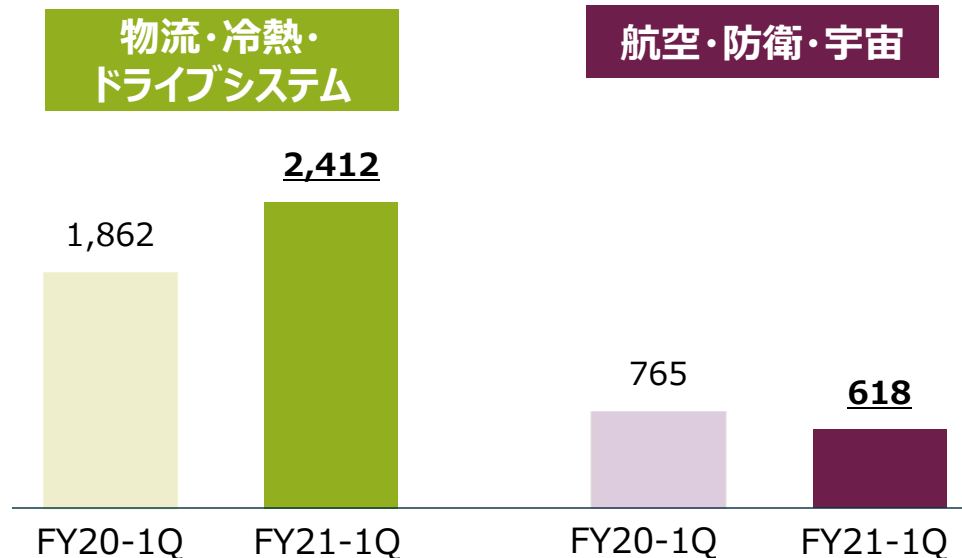


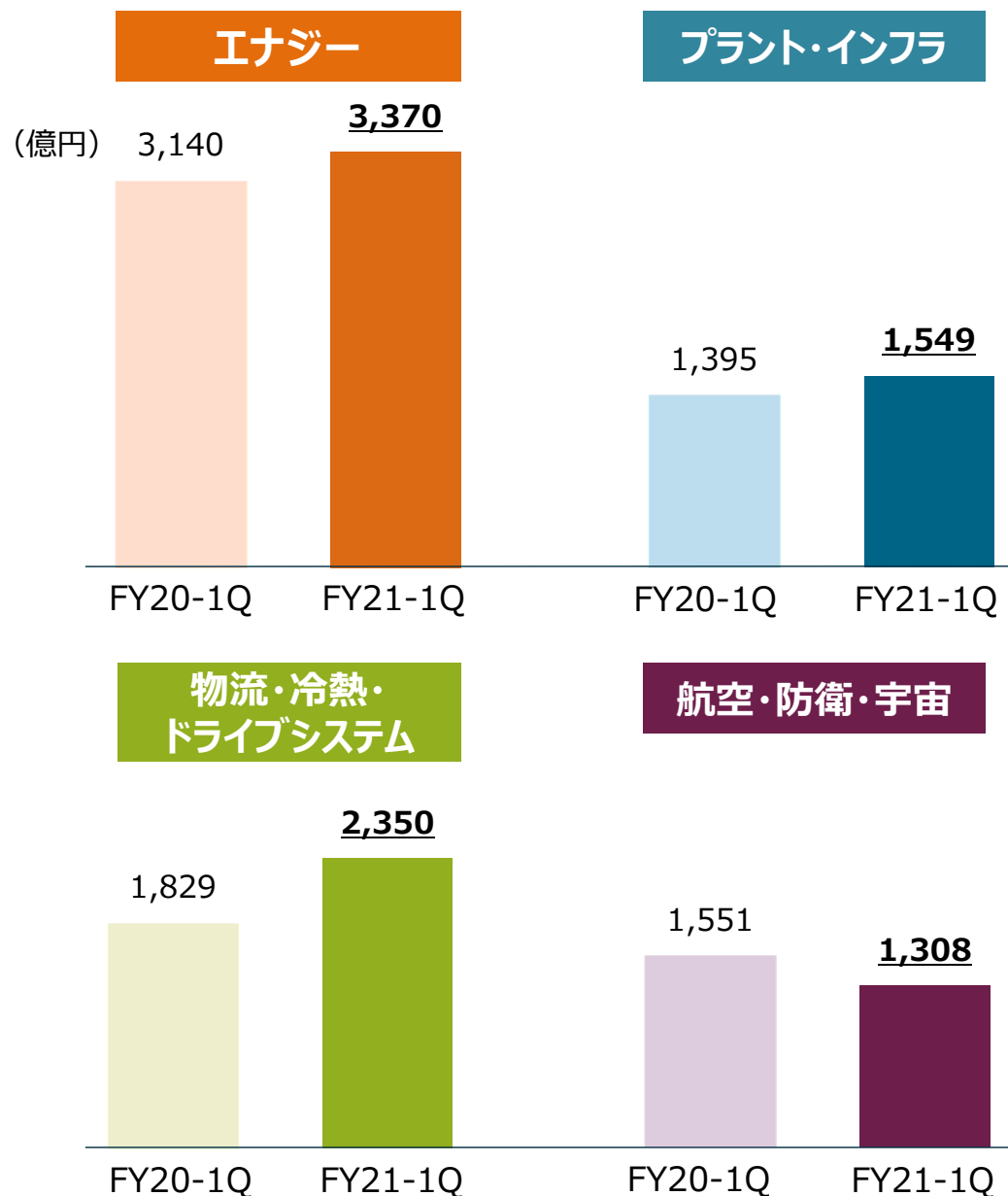
- フリー・キャッシュ・フロー
通期見通し（±0）に向けて概ね計画通りに推移
- 営業キャッシュ・フロー
 - ・プラント・インフラや物流・冷熱・ドライブシステムの採算が改善
 - ・運転資金等について、前年同期にキャッシュ・フローの悪化要因となったコロナ影響の解消
- 投資キャッシュ・フロー
昨年度はCRJ買収に係る支出があったことに加えて、今年度はSpaceJet投資ミニマム化が寄与し、投資額が減少

セグメント別 受注高・受注残高

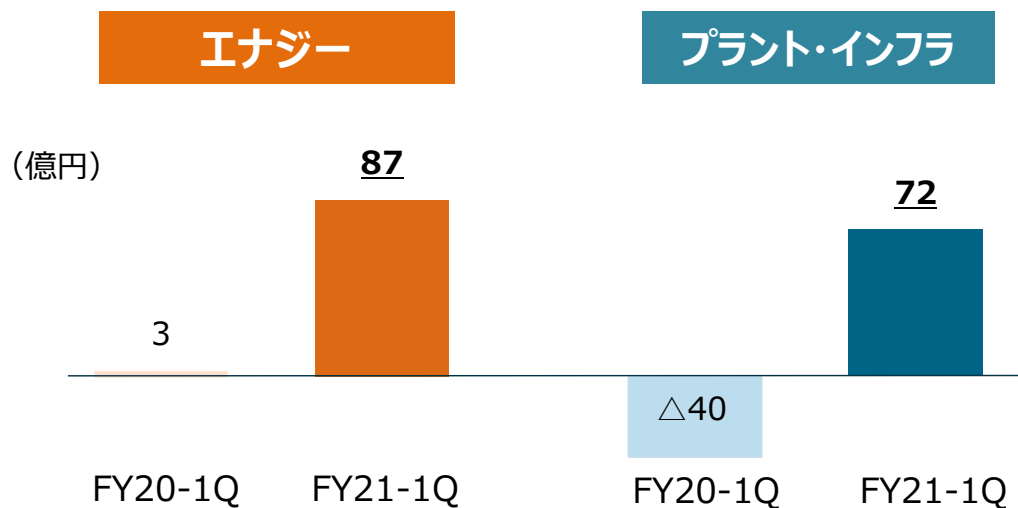


- エナジー
減少：GTCC
- プラント・インフラ
増加：製鉄機械、機械システム
- 物流・冷熱・ドライブシステム
増加：物流機器、ターボチャージャ、冷熱
- 航空・防衛・宇宙
減少：防衛航空機・飛昇体





- エネルギー
増収：GTCC、スチームパワー
- プラント・インフラ
増収：製鉄機械
減収：エンジニアリング、商船
- 物流・冷熱・ドライブシステム
増収：物流機器、ターボチャージャ、冷熱
- 航空・防衛・宇宙
減収：宇宙

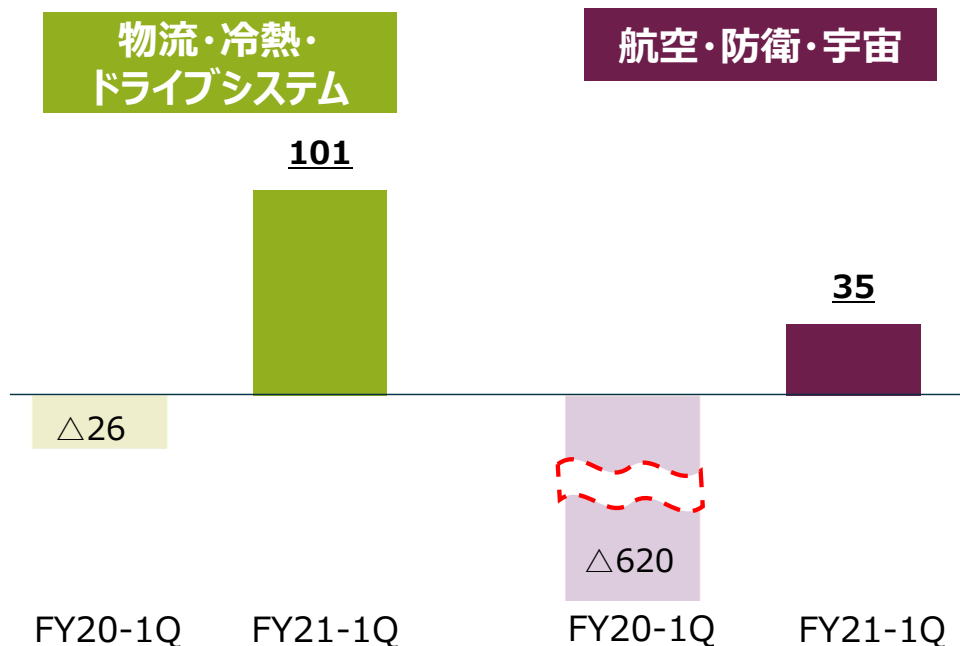


■ エネルギー
増益：GTCC、スチームパワー（増収、固定費改善）

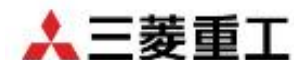
■ プラント・インフラ
増益：製鉄機械（増収）

■ 物流・冷熱・ドライブシステム
増益：物流機器、ターボチャージャ、冷熱（増収）

■ 航空・防衛・宇宙
増益：SpaceJet関連費用の大幅削減



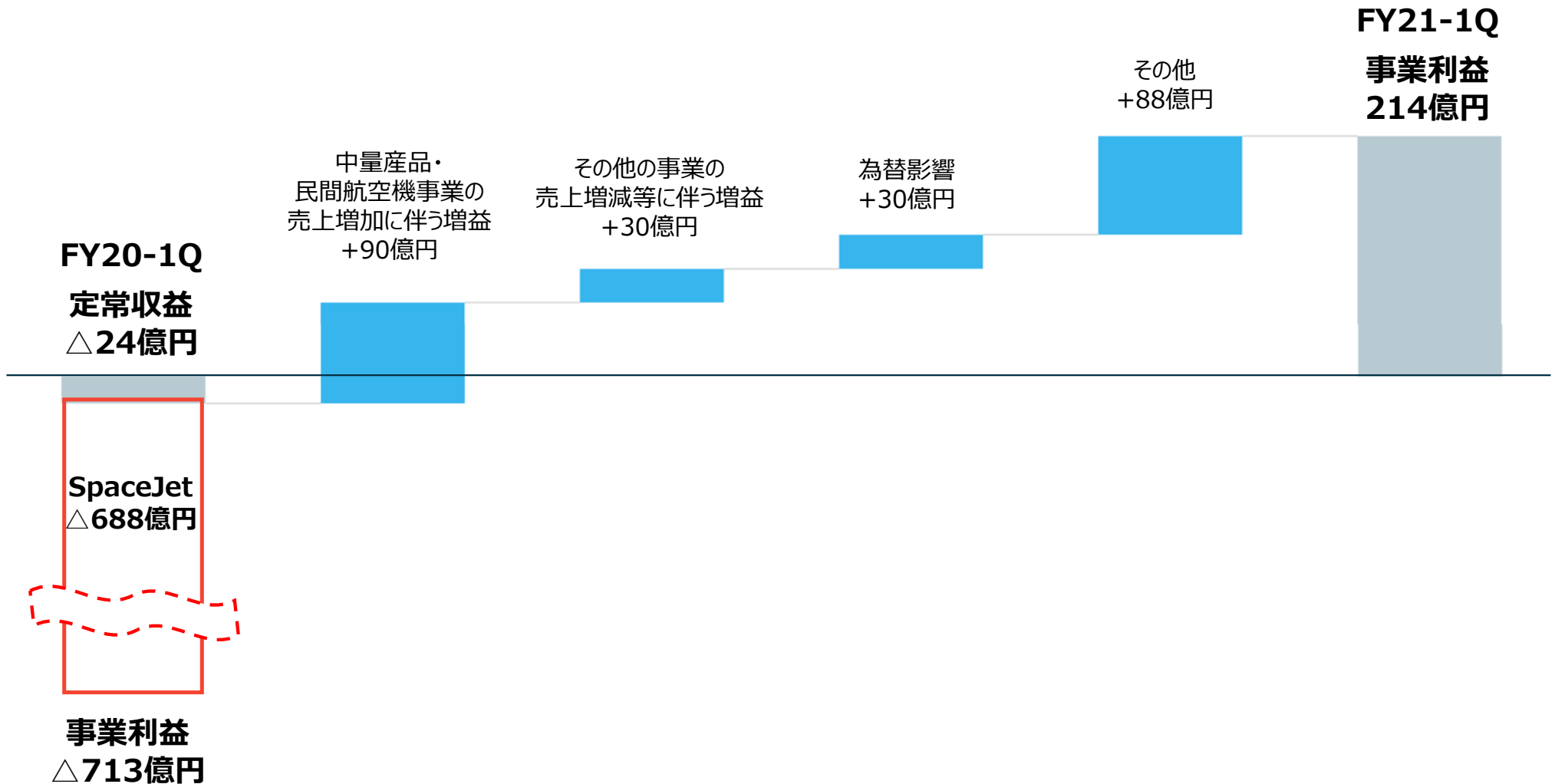
2021年度第1四半期決算実績 セグメント別内訳



(億円)

	受注高			売上収益			事業利益		
	FY20 1Q	FY21 1Q	増減	FY20 1Q	FY21 1Q	増減	FY20 1Q	FY21 1Q	増減
エネルギー	3,171	2,354	△817	3,140	3,370	+230	3	87	+84
プラント・インフラ	1,175	2,208	+1,033	1,395	1,549	+154	△40	72	+112
物流・冷熱・ ドライブシステム	1,862	2,412	+550	1,829	2,350	+521	△26	101	+127
航空・防衛・宇宙	765	618	△147	1,551	1,308	△243	△620	35	+655
その他	△78	△89	△11	△137	△61	+76	△29	△82	△53
合計	6,896	7,504	+608	7,780	8,517	+737	△713	214	+927

- 昨年度、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた中量産品・民間航空機事業については、主に中量産品事業の市況が回復し採算改善。

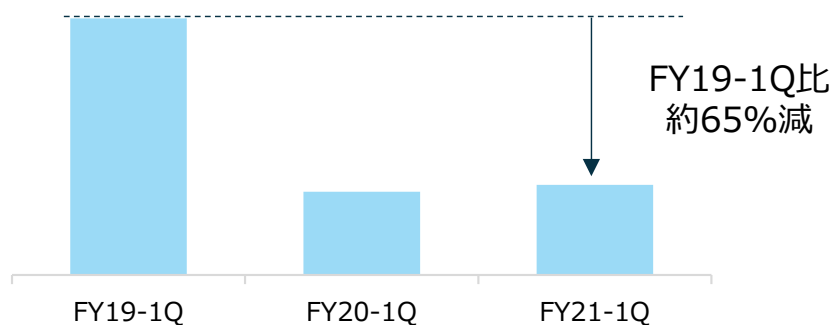


事業

売上実績

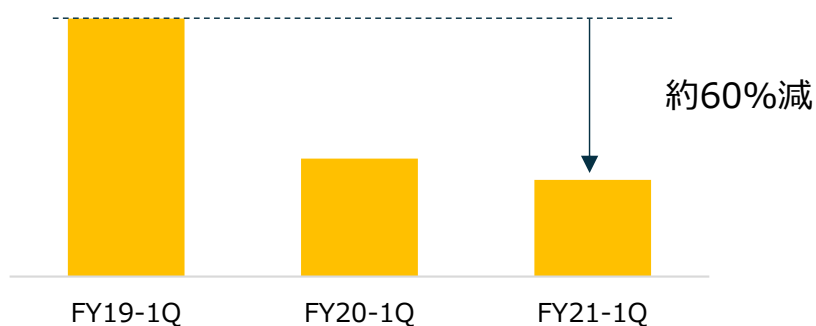
FY21-1Q末の状況

民間航空機 構造Tier1



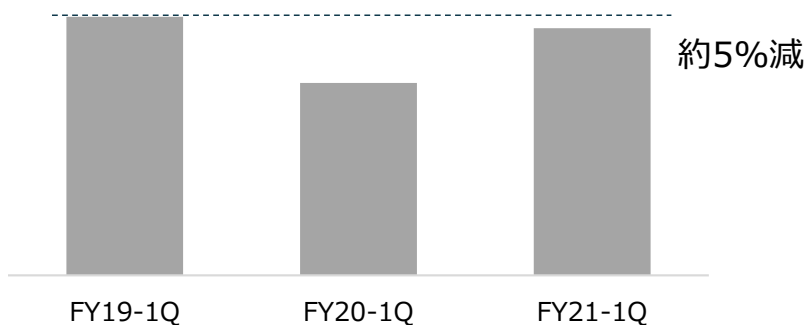
- 国内線旅客需要は米中に牽引され回復傾向にあるが、国際線旅客需要は引き続き低迷。

民間航空機 航空エンジン



- FY21-1Qは感染再拡大や売上の一部期ずれ等による影響があったが、ワクチン接種が進む米国を中心に市況は着実に回復傾向。

中量産品



- 売上収益は一昨年（コロナ前）に近いレベルまで回復。
- 売上増加局面にあるが、固定費の増加を最小限に抑え、増収・増益。

■ 受注、売上収益、事業利益

- ・市況の回復、停滞していた商談・工事の再開・進捗等により、受注、売上収益、事業利益が改善。
- ・特に、プラント・インフラと物流・冷熱・ドライブシステムは顕著な増収・増益傾向。
- ・増収基調の事業においても、固定費削減・抑制は継続。

■ キャッシュ・フロー

- ・営業キャッシュ・フローの改善、投資の抑制により、フリー・キャッシュ・フローはFY19-1Q並みの水準へ回復。
(FY19-1Q : △1,694億円、 FY21-1Q : △1,673億円)
- ・概ね計画通りの推移。

■ バランスシート

- ・1Q末時点では運転資金が増加しているが、通常の年度内の変動。
- ・引き続き、総資産の圧縮、アセットの入替えを図る。

Ⅱ. 2021年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

2021年度業績見通し サマリー

前回公表値 (2021年5月10日) から変更なし

(億円)

	2020年度実績 (利益率)		2021年度見通し (利益率)		増減 (増減率)	
受注高		33,363		36,000	+2,637	(+7.9%)
売上収益		36,999		37,500	+501	(+1.4%)
事業利益	(1.5%)	540	(4.0%)	1,500	+960	(+177.4%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(1.1%)	406	(2.4%)	900	+494	(+121.5%)

ROE		3.1%		6.5%	+3.4pt	-
EBITDA	(5.2%)	1,933	(7.5%)	2,800	+867	(+44.8%)

フリーCF		△2,771		0	+2,771	-
-------	--	--------	--	---	--------	---

配当		75円		90円
		(中間0円/期末75円)		(中間45円/期末45円)

【前提為替レート】 【未確定外貨】
 1ドル = 110円 30億ドル
 1ユーロ = 130円 3億ユーロ

2021年度業績見通し セグメント別内訳

前回公表値（2021年5月10日）から変更なし

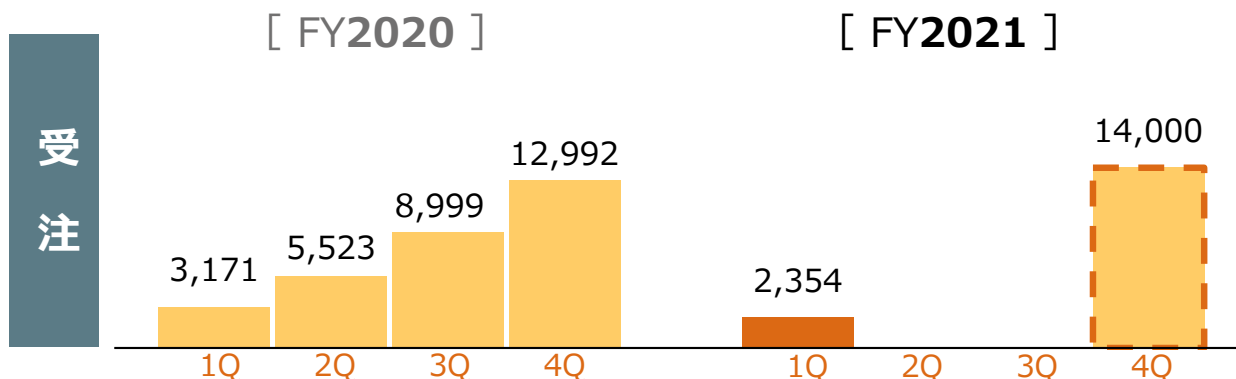
(億円)

	受注高			売上収益			事業利益		
	FY20 実績	FY21 見通し	増減	FY20 実績	FY21 見通し	増減	FY20 実績	FY21 見通し	増減
エネルギー	12,992	14,000	+1,008	15,460	16,000	+540	1,276	1,000	△276
プラント・インフラ	5,752	7,000	+1,248	6,372	6,500	+128	△102	200	+302
物流・冷熱・ ドライブシステム	8,680	9,500	+820	8,603	9,500	+897	156	300	+144
航空・防衛・宇宙	6,262	6,000	△262	7,021	6,000	△1,021	△948	200	+1,148
その他	△324	△500	△176	△457	△500	△43	158	△200	△358
合計	33,363	36,000	+2,637	36,999	37,500	+501	540	1,500	+960

Ⅲ. 補足資料

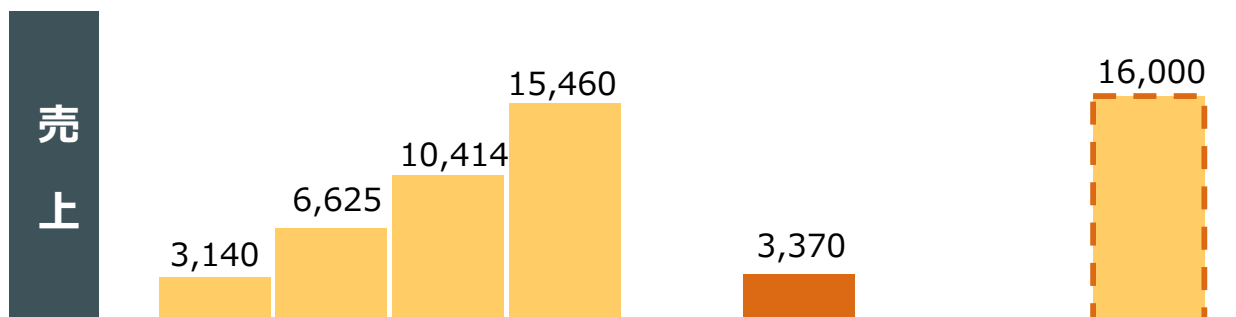
補足資料 第1四半期決算実績〈エナジー〉

(億円・各期の数値は累計)



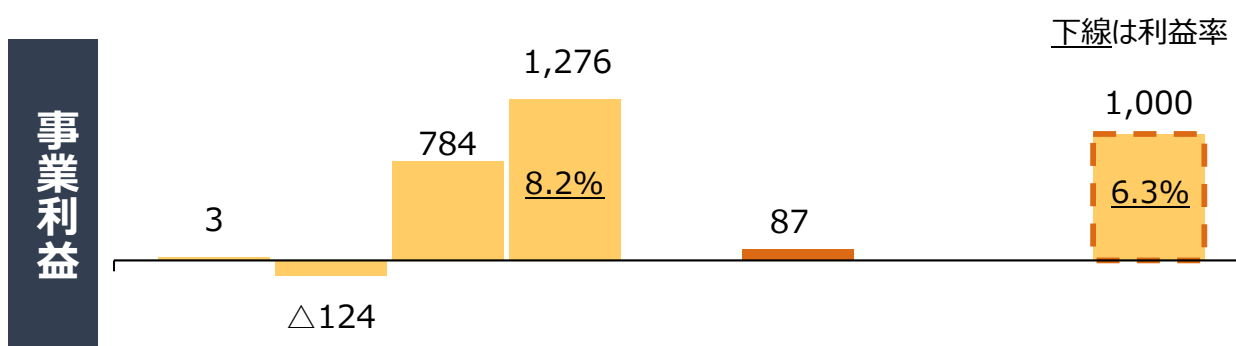
(主な事業の受注)

	FY20-1Q	FY21-1Q
GTCC	1,715	897
スチームパワー	408	760
原子力	381	326



(主な事業の売上)

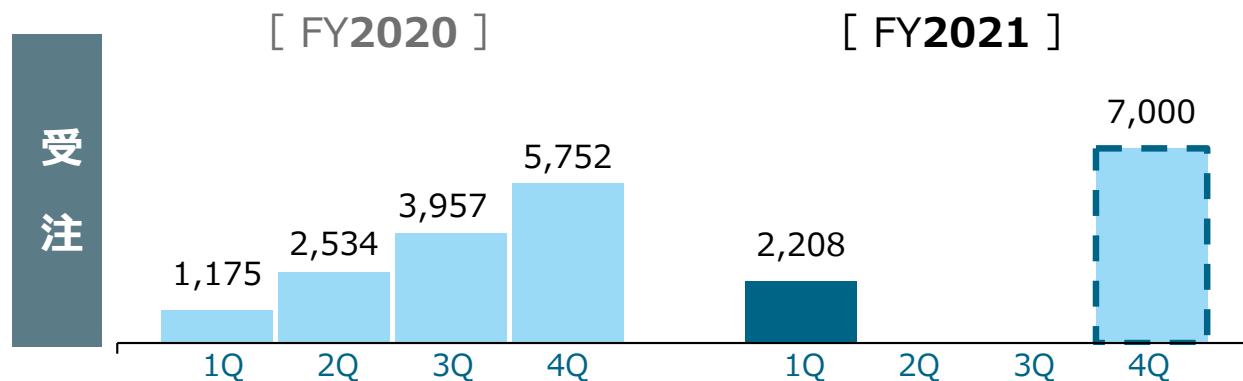
	FY20-1Q	FY21-1Q
GTCC	986	1,216
スチームパワー	1,240	1,320
原子力	408	369



- 火力事業の採算改善により、セグメント全体で前年同期比 増収・増益。
- 市況は回復基調なるも、一部売上期ずれのあった航空エンジンの減収影響や、新分野への投資・活動費の増加を吸収。

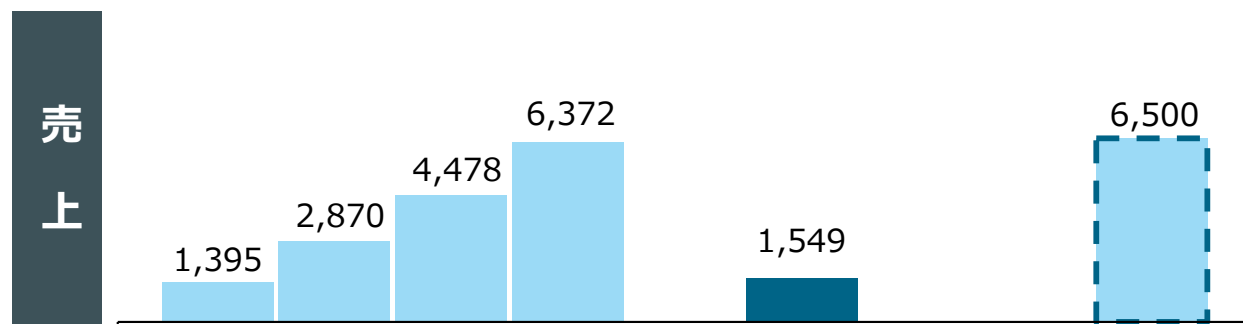
補足資料 第1四半期決算実績〈プラント・インフラ〉

(億円・各期の数値は累計)



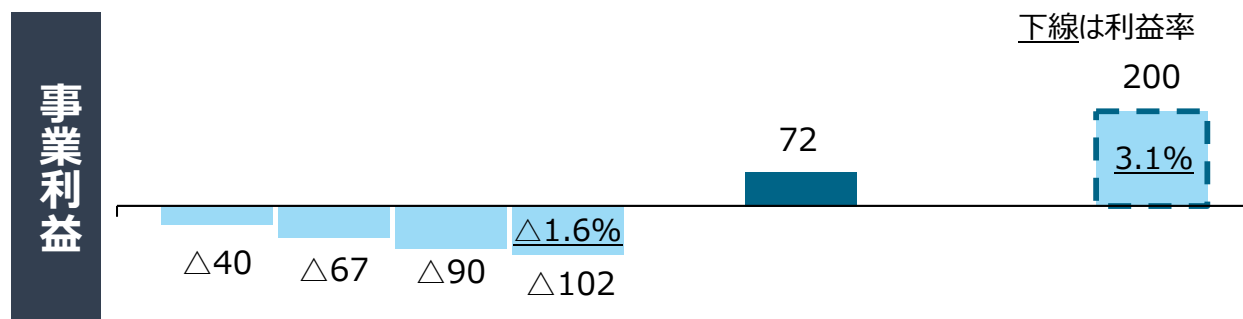
(主な事業の受注)

	FY20-1Q	FY21-1Q
エンジニアリング	293	181
製鉄機械	223	1,032
機械システム	251	366



(主な事業の売上)

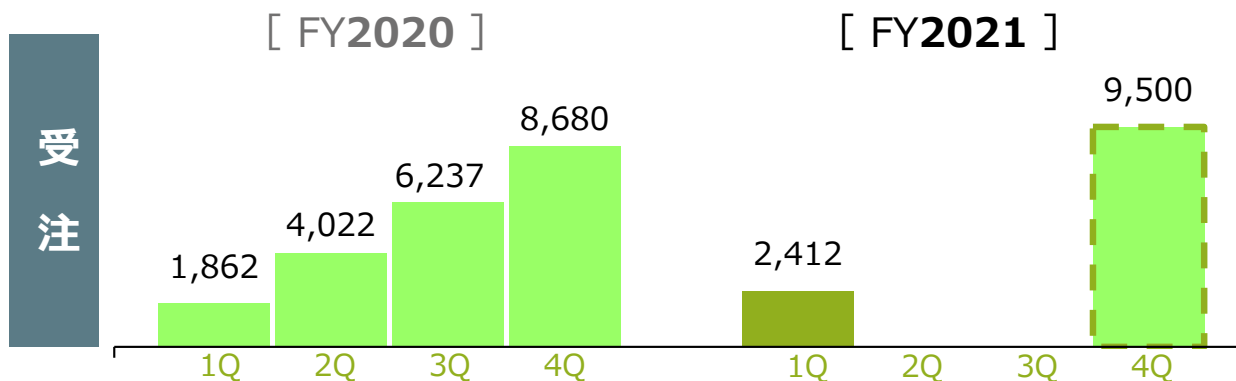
	FY20-1Q	FY21-1Q
エンジニアリング	377	303
製鉄機械	416	604
機械システム	278	284



- 製鉄機械は、コロナで停滞していた商談の活発化や、工事の再開・進捗により、受注・売上とも大きく改善。
- エンジニアリング、機械システムにおいても順調に工事が進捗し、セグメント全体で前年同期比 増収・増益。

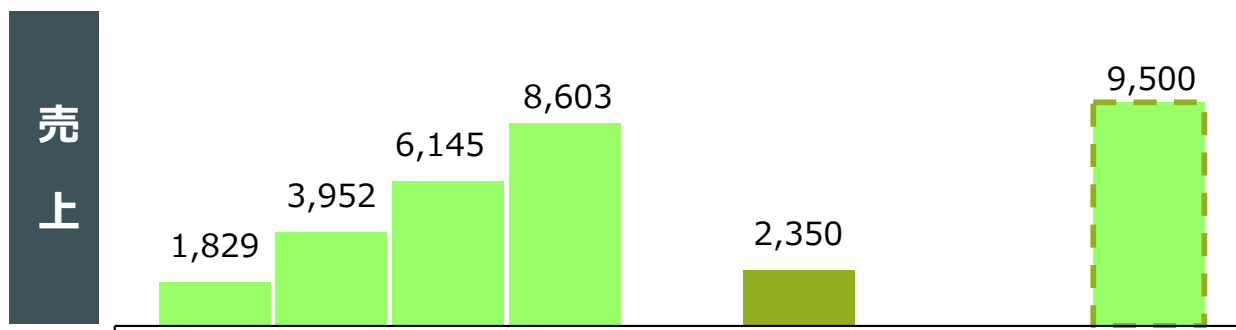
補足資料 第1四半期決算実績〈物流・冷熱・ドライブシステム〉

(億円・各期の数値は累計)



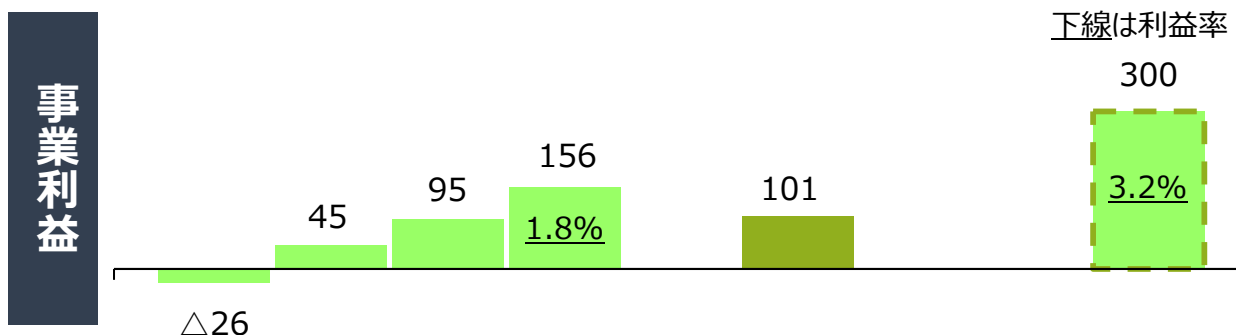
(主な事業の受注)

	FY20-1Q	FY21-1Q
物流機器	902	1,080
エンジン・ターボチャージャ	427	629
冷熱・カーエアコン	546	721



(主な事業の売上)

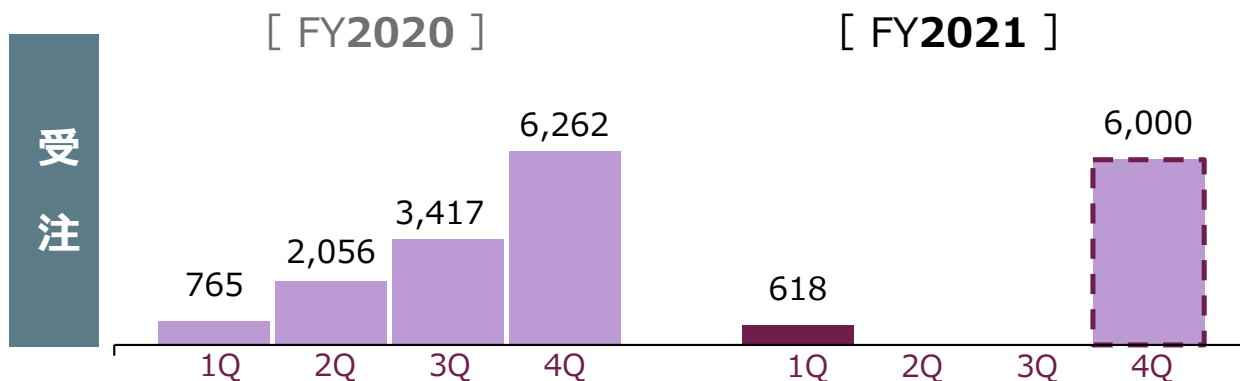
	FY20-1Q	FY21-1Q
物流機器	902	1,080
エンジン・ターボチャージャ	430	604
冷熱・カーエアコン	508	683



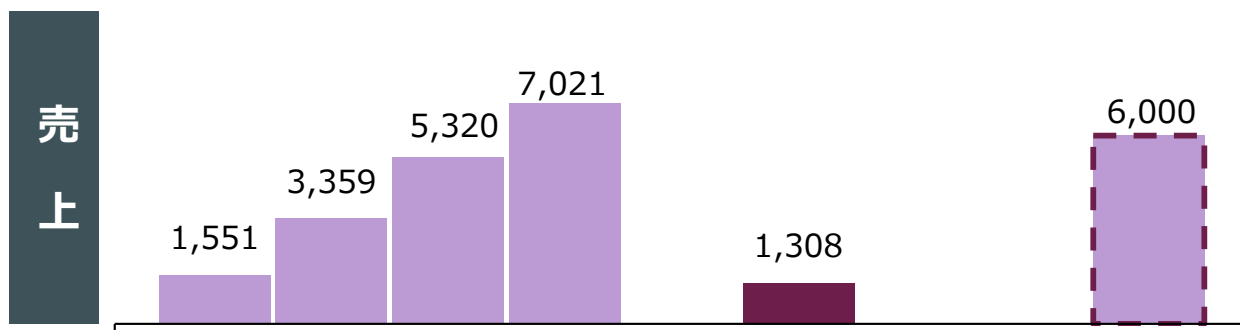
- ・ コロナ影響からの回復が鮮明。売上増加局面にあるが、固定費の増加を最小限に抑え、前年同期比 増収・増益（売上高SG&A比率は改善）。

補足資料 第1四半期決算実績〈航空・防衛・宇宙〉

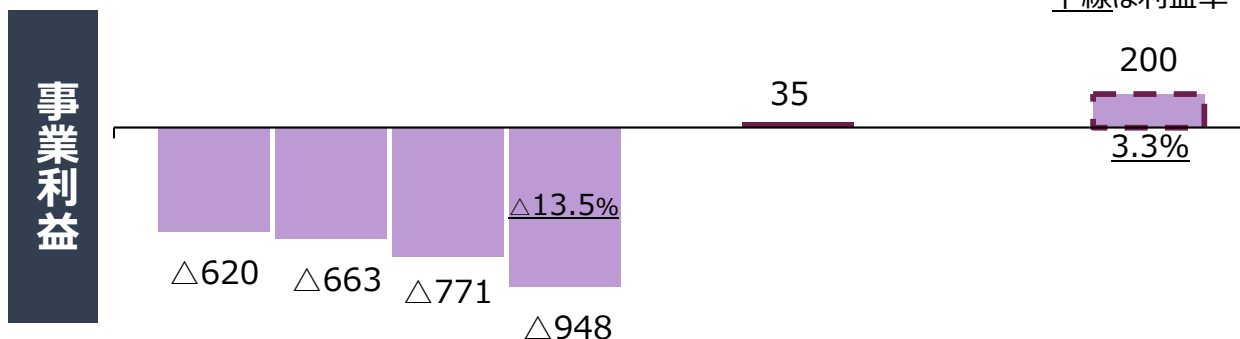
(億円・各期の数値は累計)



	FY20-1Q	FY21-1Q
防衛・宇宙	525	299
民間機	239	319



	FY20-1Q	FY21-1Q
防衛・宇宙	1,247	992
民間機	303	315



- 防衛・宇宙は前年同期の売上規模が大きかった（H-IIBロケットの打上げあり）反動で減収。
- 民間航空機構造Tier1は、Boeing向けの主要機種の出荷機数減など、依然としてコロナ影響が大きい。
- セグメント全体では、SpaceJet関連費用の大幅削減やCRJ事業の米国国内線需要回復に伴う整備需要の増加も寄与し、前年同期比増益。

ガスタービン 受注台数・契約残台数

大型	FY20 1Q	FY20 通期	FY21 1Q
米州	-	4	-
アジア	2	4	1
EMEA	-	3	-
その他	-	2	-
合計	2	13	1
契約残台数	45	48	46

中小型	FY20 1Q	FY20 通期	FY21 1Q
米州	-	6	-
アジア	-	-	-
EMEA	-	-	-
その他	-	-	-
合計	0	6	0
契約残台数	15	5	5

民間航空機 出荷機数

777	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY2020	3	10	7	4	24
FY2021	5	/	/	/	/

777X	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY2020	3	3	0	1	7
FY2021	2	/	/	/	/

787	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY2020	18	32	20	14	84
FY2021	14	/	/	/	/

研究開発費、減価償却費、設備投資

(単位：億円)

	FY20-1Q	FY21-1Q	FY21見通し
研究開発費	283	227	1,300
減価償却費	342	323	1,300
設備投資	284	208	1,200

販売費及び一般管理費

(単位：億円)

	FY20-1Q	FY21-1Q
販管費	1,304	1,365

為替レート (売上計上平均レート)

	FY20-1Q	FY21-1Q
USドル (円/USドル)	107.4	108.7
ユーロ (円/ユーロ)	117.5	132.1

MOVE THE WORLD FORWARD

**MITSUBISHI
HEAVY
INDUSTRIES
GROUP**